

第5回 会長杯・内外旗争奪 フレンドシップリーグ新人育成大会

<実施要項>

- 目的 スポーツを楽しむ中から成員相互の友情と連帯を深め、心身両面の健全育成と新人育成を図ることを目的とする
- 主催 福岡ジュニアソフトボールフレンドシップリーグ
- 主管 福岡市少年ソフトボール連盟
- 後援 読売新聞西部本社
- 協賛 内外ゴム(株)・(株)共同写真企画・(株)トンボ
- 開会式 平成 22 年 12 月 11 日 (土曜日)
雁の巣レクリエーションセンター ソフトボール専用球場
〔集 合〕 午前 8 時 00 分
〔受 付〕 午前 8 時 15 分より
〔開会式〕 午前 8 時 45 分より
- 大会期日 平成 22 年 12 月 11 日 (土)、12 月 12 日 (日)
- 会 場 雁の巣レクリエーションセンター
ソフトボール専用球場、軟式野球場 No, 8、9、10、11
- 参加資格 本年度の小学 5 年生以下で (男女を問わず) 構成されたチーム
- 参加費 1 チーム ¥7,000 円 (大会当日、受付に持参のこと)
- 協力審判員 福岡市ソフトボール協会・フレンドシップリーグ審判部
- 参加申込 福岡ジュニアソフトボールフレンドシップリーグのホームページより申し込むこと
- 申込先 福岡ジュニアソフトボールフレンドシップリーグ 事務局 : 山川 益幸
E-mail : jimukyoku@fjs-friend.jp
- 締 切 日 平成 22 年 11 月 21 日 (日曜日)
- ル ー ル 2010 年度日本ソフトボール協会オフィシャルルールとする
- 試 合 球 教育検定 2 号球 内外ソフトボールを使用する (主管者の方で準備します)
- 閉 会 式 平成 22 年 12 月 12 日 (日曜日)
雁の巣レクリエーションセンター ソフトボール専用球場
決勝戦終了後、その場において行う
- 表 彰 **【優 勝】** 優勝旗 (持ち回り)、優勝カップ (持ち回り)、賞状、トロフィー
金メダル 20 個、優秀選手賞 (1 名)、敢闘賞 (1 名)
【準優勝】 賞状、トロフィー、銀メダル 20 個、敢闘賞 (1 名)
【第 3 位】 (2 チーム) 賞状、トロフィー、銅メダル 20 個、敢闘賞 (1 名)
【参加賞】 全員

試合方法

- (1)試合は5イニング60分とする。60分を過ぎると次のイニングには入らない。
- (2)予選は、各チーム2試合のリンクリーグ方式とする。
(各パートより上位2チームが決勝トーナメントに進出する)
- (3)予選リンクの試合は、60分以内で5イニングを過ぎて同点の場合は引き分けとし、延長戦は行わない。
- (4)予選リンクの試合は、60分を過ぎて同点の場合は引き分けとする。
- (5)決勝トーナメントに進出するチームは、次の通りとする。
 - ①勝率上位の2チーム
 - ②2位までに同勝率のチームが2チームある場合は、タイブレーカーを行い、順位を決定する
 - ③タイブレーカーは2イニングまでとし、2イニングを過ぎて同点の場合には最終メンバー9名による抽選を行い、順位を決定する
 - ④2位までに同勝率のチームが3チーム以上ある場合は、各チームとも試合時の最終メンバー9名による抽選を行い、順位を決定する
- (6)決勝トーナメントは再抽選を行う。
- (7)決勝トーナメントの試合は、60分以内で5イニングを過ぎて同点の場合は、タイブレーカーを行う。
- (8)決勝トーナメントの試合は、60分を過ぎて同点の場合は、タイブレーカーを行う。
- (9)決勝トーナメントのタイブレーカーは2イニングまでとし、2イニングを過ぎて同点の場合には最終メンバー9名による抽選を行う。
- (10)3回以降7点差が生じた場合は、得点差によるコールドゲームを適用する。
- (11)塁審・記録は、組合せ通りで選出する。
- (12)初日が雨天等で中止になった場合は、予選リンクは行わず別表のトーナメント方式による大会を行う。
- (13)初日が雨天等で中止になりトーナメント方式の大会となった場合、試合方法は決勝トーナメントの試合に準ずる。

○試合上の注意事項

- (1)当日雨天の場合でも、選手は現地集合のこと。
(雨天等の為、中止の決定は会場にて大会責任者が現地にて協議の上行う)
- (2)試合中及び投球練習中は、キャッチャーは必ず公認マスクを使用し、キャッチャー・ヘルメット及びスロッドガードを着用すること。
- (3)金属スパイク及びセラミックスパイクの使用は禁止する。(ゴムスパイクは可)
- (4)打者及び走者は、ヘルメットを着用すること。
- (5)バットは、日本ソフトボール協会公認1号、2号、及び1・2号兼用バットとする。
- (6)出場選手は、控え選手を含めすべてオーダー表に氏名を記入すること。
- (7)登録及びベンチ入りの選手の人数は、20名以内とする。

- (8)監督及びコーチは、選手と同一ユニフォームであればコーチャーボックスに入ることができる。
- (9)不正行為（6年生が出場）の場合は、大会本部に確認の上、試合中であっても没収試合とする。
- (10)試合中の不正行為についての抗議は、試合終了までとし、終了後は一切受付ない。
- (11)試合中の抗議は、監督のみとする。
- (12)試合前の फिल्ディングは行わない。
- (13)試合中のファウルボールは、ベンチ側で処理する。
- (14)塁審、記録は、組合せ通りの選出で行う。
- (15)競技中の事故については、主催者側は一切責任を負わない。
- (16)出場チームは、必ず監督によって引率され、監督は選手、保護者、全ての行動に対して責任を負うこと。
- (17)予選パートのリンク戦で、1位、2位が決定するまで、全チーム残しておくこと。
- (18)予選パートの1位、2位は、本部（ソフトボール専用球場）に連絡をして帰ること。
なお、12月12日（日）の決勝抽選会は、本部で午前9時00分に行う。

○その他の注意事項

- (1)応援団は、選手の激励のみで個人攻撃などは禁止する。
- (2)試合以外で会場の施設を破損した場合は、そのチームが弁償すること。
- (3)たばこの吸殻及びジュース缶、食事の食べがら等のごみは、各チームで必ず持ち帰ること。
- (4)卓上コンロの使用は禁止とする。グラウンドへの持込み、テントでの使用も一切禁止とする。
(雁の巣レクリエーションセンター内は火気厳禁のため、絶対に守ること)

○救急車要請時の注意事項

- 各チームで練習中の事故、病気等で救急車を要請する場合には、事前に管理事務所（092-606-3458）へ連絡すること。
(公園内では救急車を誘導する義務があるので、必ず事前連絡を守ること)

○雁の巣レクリエーションセンターでの特別注意事項

一般の自転車ロード利用者から、多数の苦情が寄せられている状況ですので、下記のごことは、各チームとも厳重に守ってください。

- (1)グラウンド以外でのフリーバッティングは禁止する。
- (2)ノック、トスバッティング、キャッチボールの練習をする場合は、自転車ロードへボールが行かないように方向を考慮する。
また、この場合は特に、指導者及び保護者が3名以上指導にあたること。
- (3)自転車ロードには、練習道具、荷物、イスなどを置かないこと。